

令和6年度

「市長が訪問します

市政に対するご意見をお聞かせください」

結果報告書

1. 開催日時 令和7年2月27日（木）
13時20分～14時10分
2. 開催場所 東山中学校
3. 参加者 東山中学校2年生89名、まち協職員ほか



【テーマ】 「東山地域が、将来も温かな地域でありつづけるために、私たちは何を行動していけばいいのだろうか？」

- ・次について生徒が意見発表し、市長の感想を聞いたり意見交換を行ったりした。
 - ①「郷土の未来を語る会」において、地域の方々と語り合った各町内の困りごとや今後解決したいことについて実践発表
 - ②「Think Globally Act Locally（世界規模で考え、地元で活動する）」の発想で生徒達ではできない行動について、市でどのような行動ができるかを市長に確認

■「郷土の未来を語る会」における実践発表

行動しようと町内ごとで決めたこと

<漆垣内町>街頭をつけるために町の暗い所を探すウォーキング活動

<上野町>月1回地域のみinnで公民館を掃除する

<有斐ヶ丘>町内でのビンゴ大会やボーリング大会などの企画を積極的に行う

<三福寺>中学生から町内行事に積極的に参加、企画の話し合いにも参加

<下三福寺>月1回地域で清掃、地区委員と共同で危険箇所の点検

<下一之町>地域の町内活動に積極的参加、宮川の清掃

■市長から感想等

- ・2年続けてお招きいただきありがとうございます。
- ・自身も東山中出身で、市民の1人として感想を述べる。
- ・東山地域ほど色々な特性がある地域はないと思っており、課題として出てきたものは市全体の課題として考えるきっかけとしたい。
- ・中学生として地域で何ができるのかという想いを発表を通じて感じる事ができた。
- ・少子高齢化や人口減少は全国的な傾向で高山市だけ頑張っても解決は難しい。人を呼び込むより住んでいる人が幸せを感じられるまち、四季を感じたり郷土愛を実感できる、市外に出ても心が離れない強い地域や人づくりを進めたい。
- ・公共交通は抜本的に変える予定。
- ・危険な動物は国の基準が変わったので対象になる箇所もある。難しい問題だが、頻繁に出るようなら市も対策を考える。
- ・交通マナーや観光客のマナーはオーバーツーリズムまでは至ってない。今、本格的に考えている。高山のように多くの人を訪れる町は他にない。これまで先人が作り上げた魅力がある。だからと言ってマナー違反はだめでWith Respectの気持ちで、丁寧に説明していくことが大切。
- ・後継者問題は外から来る人に依頼するなど柔軟な対応が必要がある。
- ・まち協の防災事業などはイベントとしてでなく地域と関わる事が大切である。
- ・飛騨高山の町人DNAがあり、住んでいる誇りを持ち続けることが過疎化を防ぐ。